



波原 便り 高

県立辺土名高等学校
令和6年3月21(木)
発行者 校長 桃原健次
第19号

本年度修了式 3月22日(金)

校長あいさつより「一年を振り返って、皆さんどうでしたか。納得できる一年だったでしょうか。充実した生徒もいれば、不完全燃焼であった生徒もいると思います。

不完全燃焼であった生徒は、その原因を考え、明日からそれを克服するため、何をどうしたらよかったのか、考え、取り組むことが大切です。勉強にしても、部活動にしても、それを充実させるかさせないかは、気持ちの持ち方一つだと思います。

高校というのは、義務教育ではありません。入学試験があります。入って勉強したいという人が、進んで学ぶところです。高校で勉強や部活をとおして人間性を鍛えてください。そして、一人前の人間として成長して、本校を卒業してください。

明日から春休みです。健康には十分留意し、事件・事故等にあわないように過ごし、



4月8日の始業式に元気で登校してください。」

職業ガイダンス(1・2年生) 3月14日(木) 5・6校時

「興味関心のある職業に触れる機会を通して、職業観を広げ自らの進路に向き合う。また、進路決定に向けてやるべき事を確認させ、主体的に選択決定できるよう意識の高揚を図る」ことを目的に本校において実施されました。今回14の職業について講座を開きました。中でも一番人気があったのは「デザイン・アニメ・漫画等」です。約4分の1の生徒が希望しています。次に多かったのが「動物の仕事」「公務員の仕事」で



した。興味関心のある仕事に実際に触れることで、イメージ通りなのか確認できたのでは。また、不明な点を質問することで理解を一層深めることが出来たのではないのでしょうか。



県ヴォーカルアンサンブルコンテスト「金賞」

本校2年の加藤虎太郎さんが所属する名護市内出身の中高生で組織される沖縄・名護ジュニアコーラスの高校生グループが、今年1月28日に行われました県大会において「金賞」を受賞しています。おめでとうございます。3月22日から全国大会があるそうです。活躍を期待しています。



第79回卒業式

3月1日(金)第79回卒業式が挙行されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行前に近い状況で、辺高祭や校内ロードレース等、マスクの強制がなく行事等を実施できました。今年の卒業生は23名です。コロナ感染症に影響を受けた中での高校入学で、学校行事等の縮小もありましたが、答辞で卒業生が述べた内容からは、充実した3年間であったと思われます。各学年でお世話になった担任や先生方への感謝の気持ちを、時おり涙を流しながら述べる姿に皆感動したと思います。

二部においては、生徒会が試行をこらし、転出された先生方からビデオメッセージを頂き、動画が流れると「わー」と会場から歓声が飛び交いました。そして、少人数の学校にしか出来ない事だと思いますが、卒業生ほぼ全員の学校生活の様子を写した多くの写真や楽しそうな動画が映し出される等、見事な演出がありました。

辺土名高校79期生の皆さん、卒業おめでとうございます。それぞれの進路での活躍を祈念します。

中学生が本校で総合的な学習の時間

2月26日(月)大宜味中学校2年生が本校の生徒の山原の山と名護市の山の動物を比較した研究や、校内の生きもの博物館で保護しているリュウキュウコノハズクやサシバの説明を受けたり、飼育しているヤギとふれ合いました。

